

こども

子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします



ルツの
ラブストーリー



ぶん
文: E. Duncan Hughes

え
絵: Janie Forest

かいさくしゃ
改作者: Lyn Doerksen

ほんやくしゃ
翻訳者: Yuko Kajiki

しゅっぱんしゃ
出版社: Bible for Children
www.M1914.org

©2007 Bible for Children, Inc.

きよか たにん う かぎ はなし また
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、
きよか
許可されています。



みなさん、ちょっと、そうぞうしてみてください。もし、みなさんが、ひいおじ
いさん、ひいおばあさん、そのまたおじいさん、おばあさん、そしてもつともつ
まえ い かぞく ひと あ
と前に生きていた家族のすべての人に会ったとしたら、みなさんはきっとびっく
かぞく むかし ひと ひと
りするでしょうね。「わたしの家族のずっと昔の人たちは、こんな人たちだっ
せいしょ ひと せんぞ
たんだなあ。」って。聖書には、人としてのイエスさまの先祖
ひとり ひと
の1人にルツという人がいます。ルツは、そのむかし、ほん
かみ し ぞう れいはい
とうの神さまを知らないで、ぐう像を礼拝していた
じん
モアブ人でした。



はなし

い

じだい

このルツのお話はね、サムソンが生きていた時代のあとにはじまるのですよ。

かみ

たみ

ひとびと

かみ

そのころ、神さまの民イスラエルの人々は、神さまからすっぴりはなれていましたので、

かみ

しん

神を信じること、したがうこともやめてしまっていました。さて、その

ち

イスラエルの地に、ひどいききんがやってきたのです。みなさん、ききんって

なに

し

何でしょう。知っていますか。そう、そのとおりです。

ムギやトウモロコシなどのこくもつや、くだものなど

なに

た

そだ

何ひとつ食べるものが育たないことですね。だからき

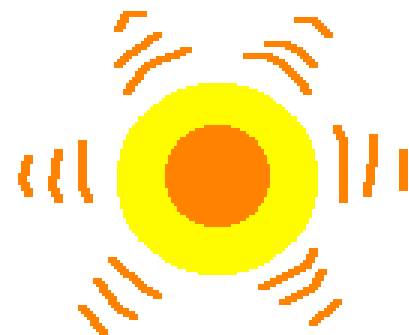
どうぶつ

にんげん

きんになると、動物も、人間たちも食べるものがなく

し

おなかがすいて死んでしまったのです。



そのころ、ベツレヘムにエリメレクという人がいました。かれもまた、食べる
ものがありません。そこで、おくさんと2人のむすこをつれ、ベツレヘムをは
なれることにしました。食べるものをさがし求めて、かれらはモアブという所
にたどりつきましたよ。その人々は、ほんとうの神ではなく、
ぐう像を礼拝していました。



エリメレクと、
かれのおくさんや

むすこたちは、ここモアブに住みましたが、そこでは、
かれらは幸^{しあわ}せにくらすことはでき^{かな}ませんでした。悲^ししいことに、
エリメレクが亡^なくなり、つづいて2人のむすこも死^{ふたり}んでしまったのです。



エリメレクのおくさんナオミは、2人のむすこたちのおくさん、ルツとオルパ
といっしょに、1人モアブに残^{ひとり}されてしまいました。亡^{のこ}くなったむすこたち
のおくさん、ルツとオルパはモアブの^{ひと}人でしたよ。

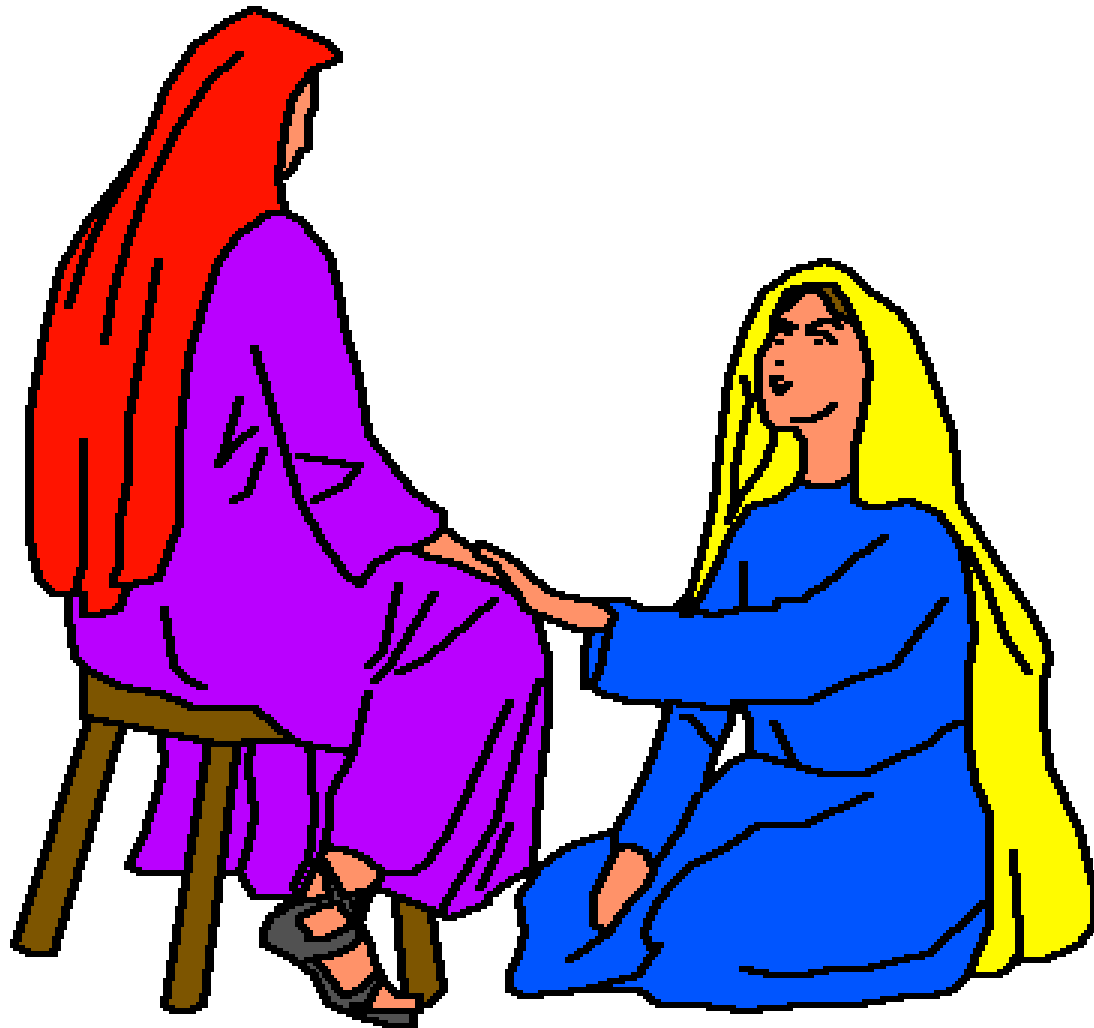


おつと な いま しゅ
夫も亡くなり、ナオミは今ひとりぼっちです。そのときナオミは、主がかれの
こくみん こ ひとびと た もの あた はなし
国民のところ、イスラエルに來られ、人々に食べ物を与えられているという話

き じょ
を聞きました。そこで、かの女は、ふるさとイスラエルにもど
き ふたり わか
ろうと決めたのです。でも、2人のまだ若いルツやオルパは
いったいどうしたらいいのでしょうか。ナオミは、かれらにこ

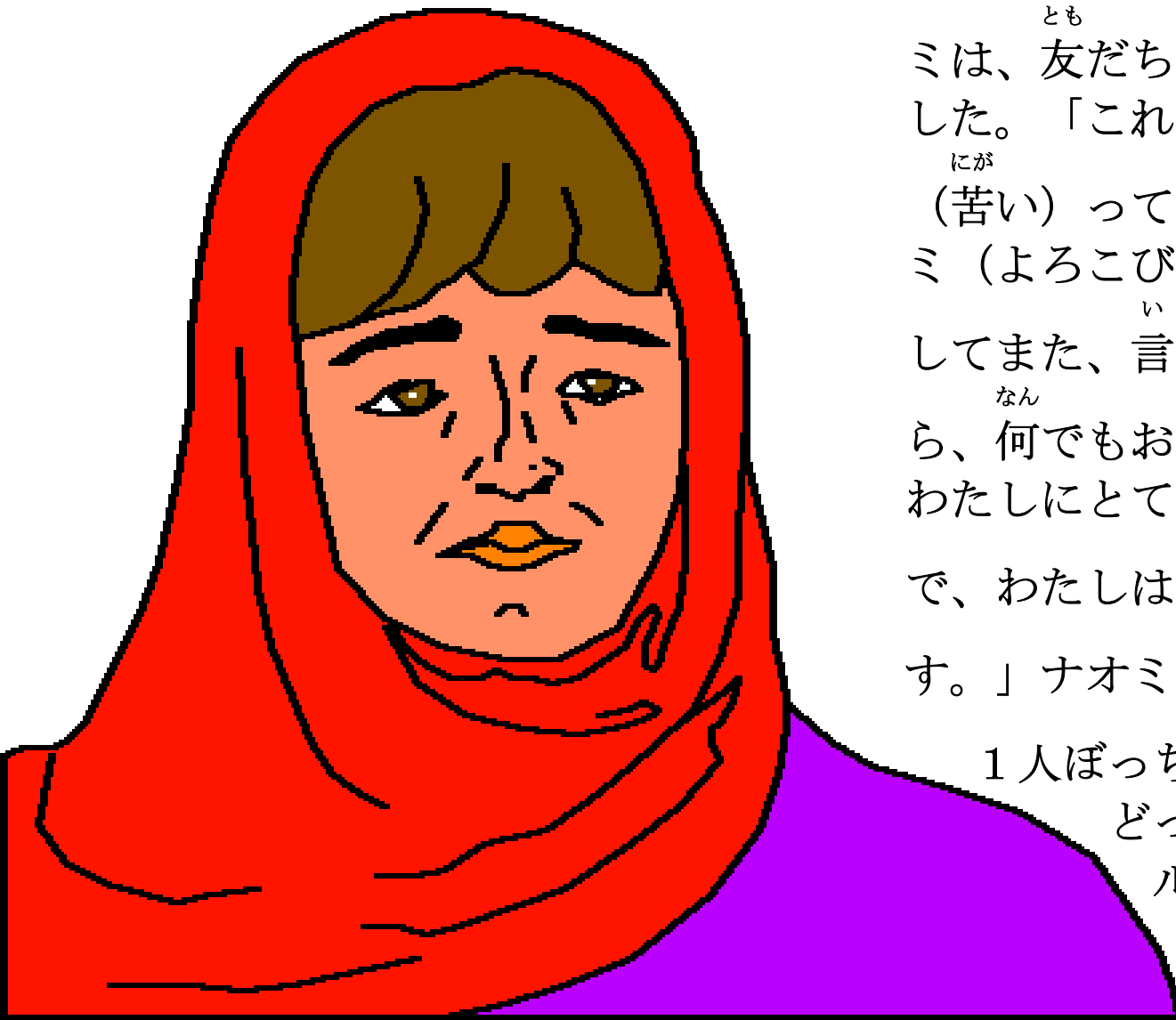
い
う言いました。「ルツ、
オルパ、わたしはイスラ
エルにもどります。
でもあなたたちはま
わか
だ若いでしょう。
だから、モアブに
のこ
残って、もうい
けっこん
ちど結婚してし
あわせになって
くださいね。」





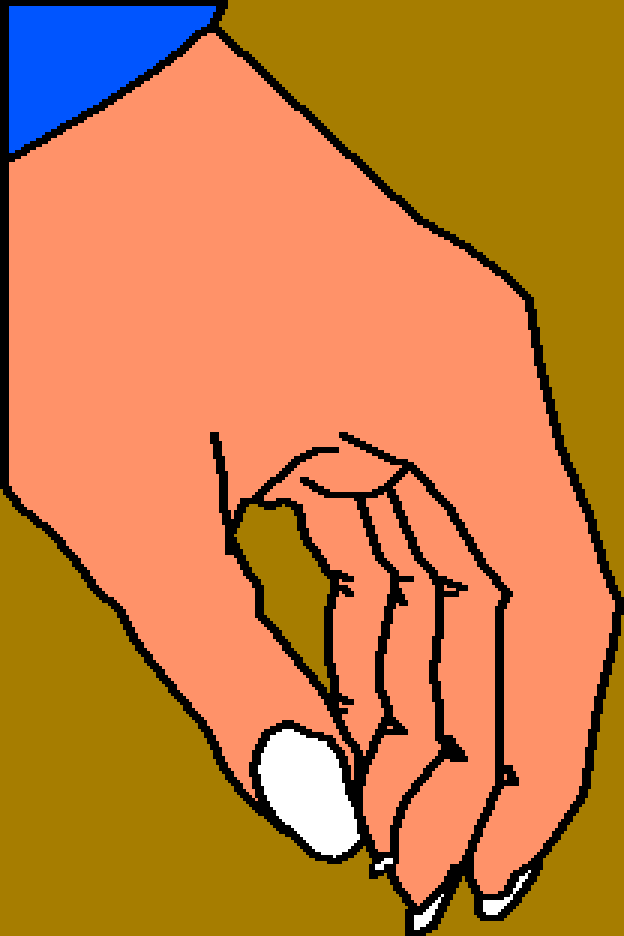
そこで、オルパは自分のお父さんじぶん どうとお母さんの家にもどっていきまかあ いえした。でもね、ルツはどうしたでしょう。「いいえ、わたしは、父や母のところにはちち ははもどりません。あなたは、わたしの亡くなった夫のお母さんな おっと かあです。だから、今はわたしのお母さんです。どうぞいつまでもあなたについて行かせてください。」心やさしいルツは、ナオミにこのようにい言って、いっしょいに生きていくことをやくそくしました。



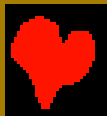
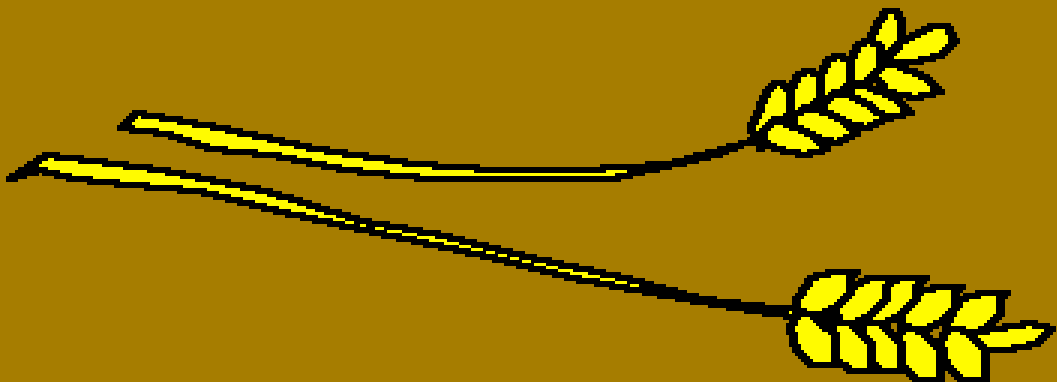


とも
ナオミのむかしの友だちはみんな、
じょ
かの女がベツレヘムにもどってきた
ので、おおよろこび。けれどもナオ
とも
ミは、友だちにこのようにたのみま
しました。「これからは、わたしをマラ
にが よ
(苦い) って呼んでください。ナオ
ミ (よろこび) のかわりにね。」そ
い
してまた、言いました。「なぜな
なん しゅ かみ
ら、何でもおできなる主なる神が、
わたしにととてもきびしくされたの
くる
で、わたしはひどく苦しんだからで
す。」ナオミは何もかも失って、
なに うしな
じぶん
1人ぼっちで自分のふるさとにも
どってきたのです。—ただ
ルツだけは いっしょで
したけれどね。





ここイスラエルへ来るまえ、ルツは、ぐう像を
れいはい く ぞう
礼拝してました。モアブのほとんどの人々がそ
ひとびと
のようにしてましたからね。けれども今、イス
いま
ラエルの生きていらっしゃるほんとうの神さまを
い かみ
礼拝するようになりました。ルツはいっしょうけ
れいはい
んめい働きました。ナオミがじゅうぶんにごは
はたら
んを食べることができるようにね。ルツは、まい
た
にち畑へ出かけて行き、刈り入れの仕事をして
ばたけ で い か い しごと
いる人のあとについて歩き、刈り取ったあとの残
ひと ある か と のこ
りものを、ひろいあつめました。





はたけ ぬし ひとり

畑のもち主の1人にボアズとい
ひと

う人がいました。かれは、ルツが
じぶん な おっと

自分の亡くなってしまった夫の
かあ

お母さんにどんなにやさしくして
き

あげているかを、聞きました。あ

るとき、ボアズはルツに会い、か
じよ たす おも

の女を助けてあげたいと思いまし
か い しごと

たよ。そこで、刈り入れの仕事を
ひと い

している人たちに言いました。

「ムギをぜんぶ刈り取ってしまわ
か と

ないで、ほんの少しだけ残してお
すこ のこ

いてください。」ボアズは、この
あ

やさしいルツに会って、だんだん
す

好きになっていきました。





ルツは、ナオミにボアズ
がどんなに親切しんせつにしてく
ださっているか話はなします
と、お姑しゅうとめさんのナオミ
は、神さまをほめたたえ
てこう言いいました。「ル
ツ、その人ボアズはね、
わたしたちの親せきしんです
よ。わたしたちの一族いちぞくの
男おとこの人の1人ひとひとりなのす。」



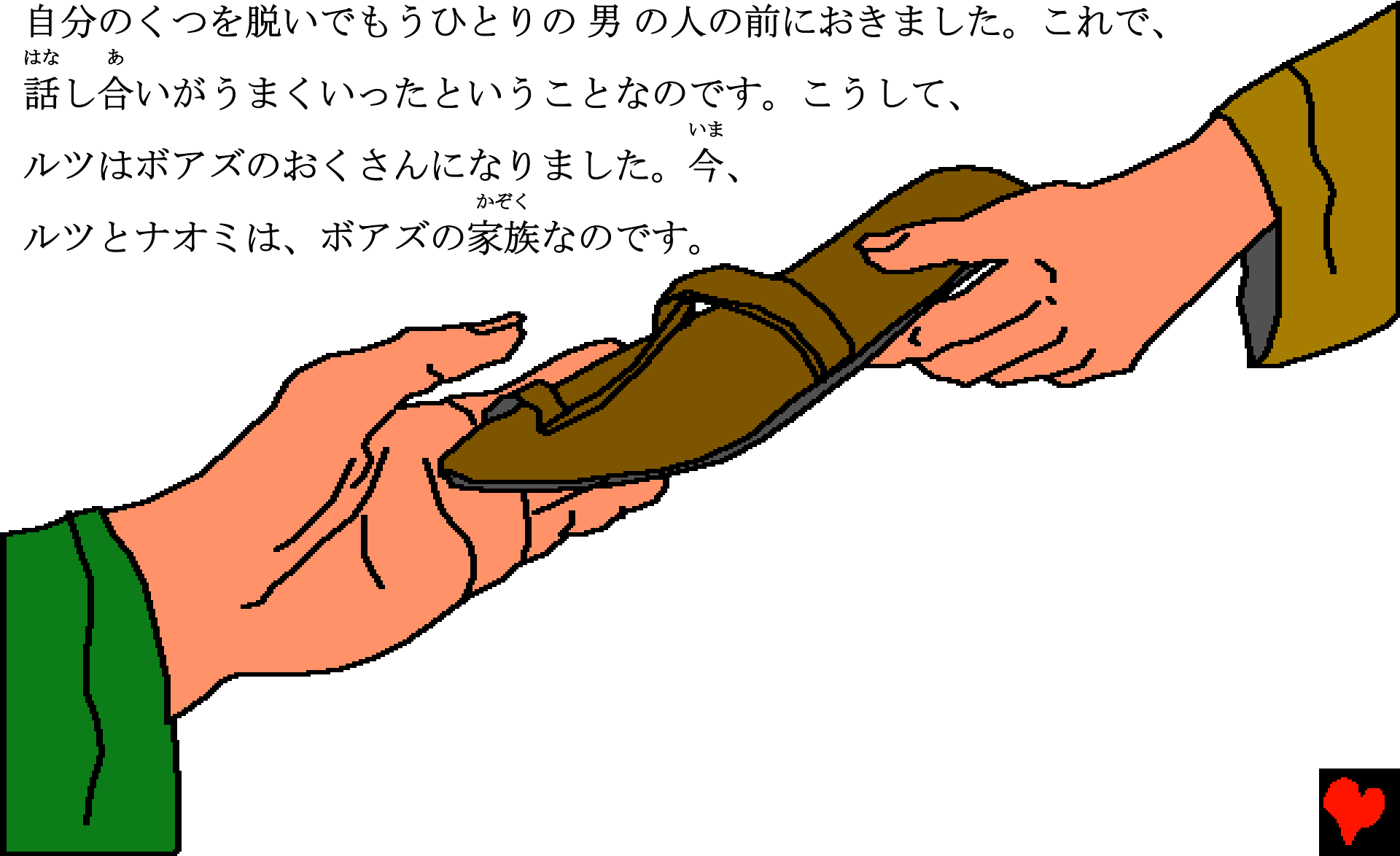


とき けっこん
時がたつにつれて、ボアズはルツと結婚して、
じょ とち
ナオミもかの女の土地も、めんどろをみて
おも
いきたいと思うようになり
しん
ました。でもね、ナオミの親せ
なか
きの中に、ボアズより
ちか しん おとこ
もっと近い親せきの男の
ひと
人がいました。そして、

ひと なん さき
その人がまず、何でも先にえらぶことができるのです。
ひと い とち
その人はこう言いました。「ナオミの土地はほしいな。
でもルツは、おくさんにしたくないよ。」けれどもそ
ほう ひと う と
のころの法りつでは、その人は1つのものだけを受け取り、
ひと う と
もう1つのものを受け取らないということは、できませ
ひと じぶん けんり
んでした。そこで、その人はボアズに自分の権利をゆず
ることにしました。



じだい その時代、イスラエルの人々は話し合いがうまくいったとき、今のようにあく手
ひとびと はな あ ひとびと はな あ ひとびと はな あ ひとびと はな あ
いま しゅ
をしなかったのですよ。では、どうするのでしょうか。ボアズはみんなの前で、
まへ
じぶん ぬ おとこ ひと まえ
自分のくつを脱いでもうひとりの男の人の前におきました。これで、
はな あ
話し合いがうまくいったということなのです。こうして、
いま
ルツはボアズのおくさんになりました。今、
かぞく
ルツとナオミは、ボアズの家族なのです。





ボアズとルツは、かれらの初^{はじ}めのむすこを
オベドと呼びました。じつは、オベドは
ダビデのおじいさんなのです。ダビデは
イスラエルのりっ^{おう}ぱな王さまになりましたよ。



みなさん、ここでもっともっとすばらしいお話をしまししょうか。ルツとボアズ
の赤ちゃんオベドは、主イエス キリストの先祖だったのです。王の王であり、
この世の救い主であるイエスさまは、じつはこのダビデの家から生まれられたの
ですね。



ルツの ラブストーリー

かみ み せいしょ する
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

き
ルツ記

み ひら ひかり あた
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん
詩篇 119:130



おわり



